

吹田市保健所における 難病患者の災害対策

令和7年(2025年)6月25日(水)
吹田市保健所運営協議会
健康医療部 地域保健課
難病グループ

難病患者の災害対策

難病患者の方には特別な医薬品の使用や、人工呼吸器等の医療的処置が必要な方も多く、それらの治療や処置を維持することはとても大切です。

難病患者の方は、高齢者や障がい者と同様に「**災害時要援護者※**」と位置付けられています。

保健所では、大阪府の「難病患者・慢性疾患児のための災害対応マニュアル」に基づき、**24時間人工呼吸器を装着している患者など、大規模災害や停電により生命維持に関わる方への支援（備え、発災時の対応）**を行うこととなっております。

また、すべての難病患者及びその家族が、平時から災害発生を想定した備えを行えるよう、**防災意識の向上のため周知啓発**も行っており、各種取組は庁内関係部署や、関係機関と連携しながら推進しています。

※災害時要援護者とは、災害時又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な在宅者で、避難するために特に支援が必要な方のことを言います。



難病患者の災害時支援

平常時

- 災害時の備えに対する周知啓発
 - ・医療費助成制度の申請時に啓発チラシ配布 ①
 - ・イベントや保健所ロビーでの啓発展示 ②
- 災害時要援護者に対する対策
 - ・台帳整備（主にA・B区分の方）
 - ・個別避難計画の作成支援
 - ・電源確保の情報提供（公的サービスの案内等）
 - ・模擬訓練（災害伝言ダイヤル171等）
- 他機関連携による支援の充実
 - ・庁内要配慮者ワーキングチーム会議による協議
 - ・医療機関との連携による電源確保 ③

災害時

- 台風など予測できる災害時
 - ・A・B区分の方への事前連絡（充電等備蓄の確認
事前避難入院の意向確認など）
- 地震や台風などの発災時
 - ・A・B区分の方への安否確認（※24時間以内）

※大阪府難病患者・慢性疾患児のための
災害対応マニュアルより

A区分：概ね1日中人工呼吸器を装着している患者
B区分：気管切開で吸引している患者

令和6年度 難病患者・家族への災害支援の取組の一例

難病患者・家族への個別支援

①防災に関する啓発チラシを配布

準備物品や災害関連サイトやアプリ等の紹介

②イベントや保健所ロビーでの啓発展示

【参考】令和5年度 防災に関するアンケート結果

◎災害への備えについて

「備えている」:54.8% 「備えていない」:37.4%

◎備えをしていない理由

「どうしてよいか分からない」:54.0%

「準備したいができない」:19.0%

お役立ち情報

●● 関西 停電

停電情報提供サービスの案内

関西電力株式会社が提供しているサービスです。

1. 停電情報を通知でお知らせ

「登録地域」で停電が発生した場合等に、通知が届きます。

2. 登録地域の設定

通知を受け取る地域を、最大10地域まで登録できます。自宅や離れて暮らす大切な方の住所を設定しておくと、停電の発生情報などが届きます。

3. 「全域停電情報」

関西全域の停電情報が確認できます。停電情報は府県、市区町村、地区ごとにみることができ、地区まで絞り込むと、停電の発生時間や復旧見通しなどが確認できます。

詳しくはアプリか停電時のコールセンター（TEL:0880-777-3081）へ
<https://www.kepc.co.jp/souhaiden/supply/teiden-appli/index.html>



啓発チラシより一部抜粋

令和6年度 みんなの健康展



令和6年度 難病患者・家族への災害支援の取組の一例

医療機関との連携による支援

③医療機関との連携による電源確保

～市立吹田市民病院の場合～

【概要】

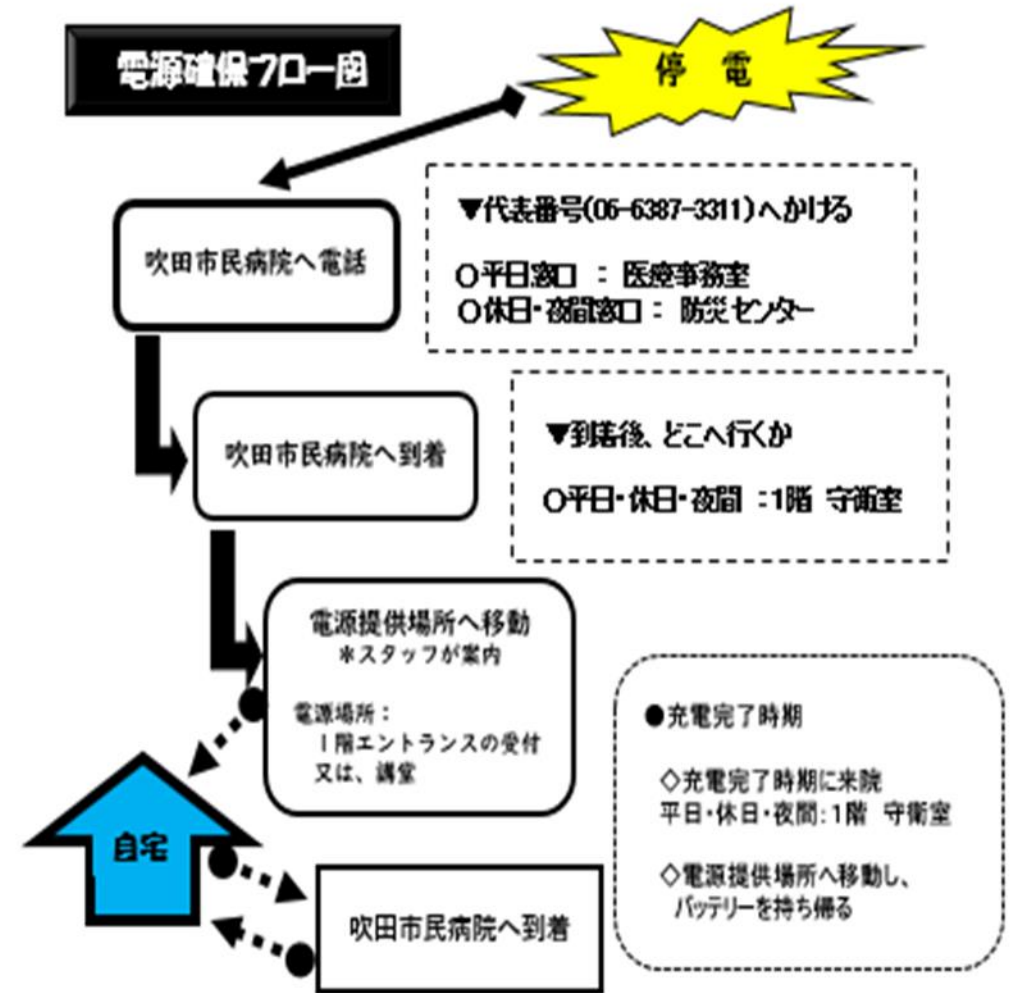
令和3年度より、部分停電時の電源確保について調整を開始。

【対象】

- ・概ね24時間人工呼吸器を装着している難病患者
- ・気管切開で吸引している難病患者

【内容】

- ・人工呼吸器、吸引器等医療機器の外部バッテリーの充電箇所の提供
- ・模擬訓練（令和5年度実施）



難病患者の災害時支援

課題

- すべての難病患者の災害時の備えに対する意識の向上
 - ・災害時の備えの平常時からの実践
- 災害時要援護者に対する個々の対策の具体化（主にAB区分の方）
 - ・自宅避難予定者の自助力向上
 - ・個々に合った避難先や移動手段の確保
- 他機関連携による支援の充実
 - ・支援者の対応力向上
 - ・充電場所、避難先、移動手段等の地域の社会資源の確保・開拓

今後の取組

- 災害時の備えに関する周知啓発の強化
 - ・医療費助成制度の新規申請時の啓発用クリアファイル配布④
- 実効性のともなう個別避難計画の作成
 - ・支援機関の協力による個別避難計画作成支援
 - ・電源確保等備えに関する情報提供
- 災害時支援体制及び地域資源の整備、推進
 - ・関係機関向け研修会の開催
 - ・各医療機関等による充電協力のマニュアル化
 - ・庁内関係部署、関係機関連携による更なる充電場所、避難先等確保・開拓のための調整

令和7年度 難病患者・家族への災害支援の取組の一例

④新規申請時の啓発用クリアファイル配布

関係新規申請の方に配付するため、防災情報を記載したクリアファイルを試行的に作成。

各自の防災対策として、
平常時からの備えに
ついて案内しています。

吹田市 防災対策のススメ あなたは準備万全？

地域の避難所を知っている

避難経路も確認しておきましょう。
避難場所も確認しておきましょう。
協力を得られるよう準備しておきましょう。

避難用品を準備している

避難用品は、貴重品です。内服薬の優先順位や薬が確保できない
場合の備えなど、確認しておきましょう。

避難用品のチェックリスト

- 特定医療費(指定難病)受給者証
- 毛布や携帯用カイロなどの生活用品(体温調節用)
- 処置に必要な医療物品 など

患者さんの
状況に応じて
持ち出す物品

□ その3:大阪府防災情報メールを知っている(登録している)

登録した地域の避難勧告などのメールを受け取れるシステムです。詳しくは裏面をチェック！

□ その4:災害用伝言サービスの使い方を知っている

災害時に伝言を残したり、聞いたりできるシステムです。詳しくは裏面をチェック！

□ その5:災害時要援護者名簿を知っている(登録している)

災害時の避難に援助を必要とする方(身体障がい者手帳所持や医療的ケアが必要な方など)
が対象です。詳しくは裏面をチェック！

【問い合わせ先】
吹田市健康医療部 地域保健課 難病担当
吹田市出口町19-3(吹田市保健所)
(TEL) 06-6339-2227 (FAX) 06-6339-2058

大阪府防災情報メール

おおよそ防災ネットの防災情報メール配信サービスは、
気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・指示などの
防災情報について、メールで配信するものです。

おおよそ防災ネット

災害用伝言ダイヤル(171)

災害時に電話を利用して、被災地の方の
安全を確認する「伝言板」です。インターネット
災害用伝言板(web171)等もあります。

休利用日
・毎月1日及び15日 00:00～24:00
・正月三が日(1月1日00:00～1月3日00:00)
・防災週間(8月30日9:00～9月5日9:00)
・防災とボランティア週間(1月17日～1月23日)

吹田市防災マップ

市内の避難所の場所がわかる地図が掲載されています。

吹田市ハザードマップ

洪水しやすい地域を示した
「洪水・内水ハザードマップ」

災害時要援護者登録制度

災害時要援護者の情報を、災害時要援護者名簿に
登録する制度です。名簿は、本人の同意に基づい
て、要援護者の支援に関する指定を市と連携した
地域支援機構に提供され、要援護者情報の共有を
図ります。

個別避難

災害時に「ひとりで避難が困難な方」
の避難について、避難経路を事前に検討し、準備
しておくことで、円滑な避難につなげることを目的
に作成します。

関西停電情報

関西電力株式会社が提供しているサービスです。

1. 停電情報を通知お知らせ
「登録地域」で停電が発生した場合等に、通知が届きます。
2. 登録地域の設定
通知を受け取る地域を、最大10地域まで登録できます。
自宅や離れて暮らす大切な方の住所を
設定しておくことで、停電の発生情報などが届きます。
3. 「全域停電情報」
関西全域の停電情報が確認できます。停電情報は府県、
市区町村、地区ごとにみることができ、
地区まで絞り込むと、停電の発生時間や復旧見通しなどが確認できます。

関西電力停電情報はこちら
<https://www.kansai-td.co.jp/teiden-info/index.php>

(発行元:吹田市健康医療部 地域保健課 難病担当 令和7年1月作成)

ハザードマップ、
停電情報など防災情報、
アプリの案内をして
います。